

DXのチカラで、設備を止めない！不良を出さない！

KMC ユーザー講演会 & プライベートショー in 名古屋

ユーザー講演会：7月3日(木) 11:00～19:00

■タイムスケジュール

KMC初のユーザー会を実施します。
各種製品を活用いただいている
ユーザー様から、導入背景やその
効果、今後の取り組みなどを講演
いただきます。
是非この機会にご来場ください！

時間	主な対象製品	登壇者
11:00～	Σ軍師Ⅱ	東興機販株式会社 山下様
11:30～	Forging DX NAVI	伸光技研産業株式会社 加藤様
13:00～	サーモモニタリン	株式会社戸畑ターレット工作所 四海様
13:40～	サーモモニタリン	株式会社デンソー 西尾製作所 宮本様
14:20～	金型IoT	株式会社三光ダイキャスト 荻野様
15:00～	ナレッジ電承	アルプスアルパイン株式会社 佐野様
15:50～	型内センサ	スズキ株式会社 組谷様
17:00～	懇親会	

参加費：無料

※事前登録が必要です

※時間・内容は変更になる可能性がございます。
詳細は別紙をご確認ください。

会場 T K Pガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口

〒453-0015
愛知県名古屋市中村区椿町1-16
井門名古屋ビル（受付：7F）



■アクセス
名古屋駅
太閤通口
徒歩3分

お申込み・お問い合わせは

株式会社KMC

TEL：044-322-0400

✉：sales@densho-factory.com

ピックアップ！

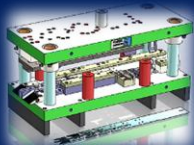
先取り！展示品紹介 ～見て・聞いて・触って試す～

無線式金型センシング：プレス・樹脂・ダイカスト（設備含）

部品製造における最大の懸案は、金型起因不良。熟練技術屋不足の今製造現場には熟練者に代わるデジタル「**型内センサ・センシング**」が不可欠です。プライベートショーではプレス・樹脂・ダイカスト金型に特化した**世界初**の無線式センサをご紹介します。Σ軍師ソフトウェアと組み合わせた**不良の予知予防・設備保全システム**をご提案します。

－ 出展内容 －

型内圧力・温度・型開・溶湯温度センサ／センシング・サーモモニタリンなど
プレス：歪・パンチ圧力・背圧・ミスフィード・ディスタンスブロックなど



型内センシング



歪センサ・プレスモニタリン



主軸モニタリン



サーモモニタン

金型IoT・測定IoT・設備IoT・成形AI

○金型IoT

金型貸与先管理、ショット数連携、金型部品入替機能

○測定IoT

各種測定器対応、検査不正対応、デジタル検査表、測定機校正管理

○設備IoT・Σ軍師ソフトウェア

設備・センサデータ収集、故障予知

○成形AI（Σ軍師Ⅱ AI PLUS）

成形不具合 要因分析オプション

○ナレッジ電承

樹脂/プレス型設計 標準ナレッジ実装

プライベートショー
同時開催！

7月3日(木)10:00～17:00

参加費：無料

※事前登録が必要です

お申込み・お問い合わせは

株式会社KMC

TEL：044-322-0400

✉：sales@densho-factory.com

時間	講演内容/ご登壇者
10:50～11:00	開会ご挨拶 株式会社KMC 代表取締役社長 佐藤 声喜
11:00～11:25	<u>部切削加工×IoT - 中小企業のスマートMini Factory戦略</u> 人手不足・多品種少量生産という中小企業の課題に、IoTとセンシングで挑んだスマート工場の実例。稼働率の見える化、工具や測定の管理自動化など、リアルな改善プロセスをご紹介します。 東興機販株式会社 生産支援室 山下 実 様
11:30～12:00	<u>圧造専門メーカーが挑戦する「Forging DX NAVI」</u> 金型IoT+M2Mシステムによる圧造に特化したクラウド管理システム「Forging DX NAVI」を構築した。圧造特有の工程に対応し複数の圧造機、タッピングマシンのショット数や業務に対応したDXシステムを発表します。 伸光技研産業株式会社 取締役 工場長 加藤 聡典 様
13:00～13:30	<u>金型温度監視による異常の見える化 ～スマート鑄造管理～</u> スマートファクトリー化を目指す為に、ダイカストの品質確保に重要な金型の表面温度管理に対し、中小企業でも出来る金型温度の監視と異常の見える化について、社内DXメンバーと取り組んだ事例を紹介します。 株式会社戸畑ターレット工作所 生産技術部 部長 四海 邦治 様
13:40～14:10	<u>製造現場DXによる設備・金型管理と人財育成の革新</u> <u>～不良を作らない・流さない工程づくり～</u> デンソーが立ち向かう、課題に対するDXの具体的な取り組み事例について紹介します。特に、製造現場におけるデジタル技術の活用による効率化や品質向上の取り組みを中心に、金型管理や設備保全の最新技術を用いた実践例を解説します。 株式会社デンソー 西尾製作所 熱交換器製造部 生産3課 課長 宮本 和 様
14:20～14:50	<u>属人化された金型管理からの脱却（仮）</u> 紙とExcelを活用した属人的な金型管理からの脱却 金型管理のデジタル化を推進し、ベテランの作業履歴を組織の「知」とし蓄え 個人に依存しない作業効率化、製品品質向上の取り組みをご紹介します。（仮） 株式会社三光ダイキャスト 製造・生産技術担当 執行役員 萩野 稔 様
15:00～15:40	<u>同じ失敗を繰り返さない「DMCシステムの構築と運用」</u> 製造現場の樹脂成形・塗装に関するM2Mシステムの構築に並行して、技術部門の技術伝承のデジタル化に挑戦。同じ失敗を繰り返さない仕組みを設計、生産技術、購買の横断的な取り組みと仕組み構築に挑戦。製造現場の“デジタルツイン”にも拡張挑戦中。 アルプスアルパイン株式会社 第1機構技術部 機構技術1G 佐野 力 様
15:50～16:40	<u>樹脂・ダイカスト金型 センシング技術と5感のデジタル伝承</u> <u>～新規設計 型内センサーを活用した実践事例～</u> スズキではこれまでコスト重視の生産体制を維持し、多くの技術を外部委託してきましたが、同業他社との比較で技術改革の遅れが明らかになりました。そこで、特に五感を活かした技術伝承の課題に着目し、若手への効果的な技術伝承と成長促進の仕組みを構築します。自動車部品の70～80%を占める金型を用いた成形・加工技術の強化を図り、技術力の向上と持続的な競争力確保を目指します。 スズキ株式会社 生産本部 ものづくり推進部 部品生技グループ 匠 組谷 智之 様